

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学部を含む）用教科用図書の調査研究資料 ～国語～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 各領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）及び各事項（「言葉の特徴や使い方に関する事項」等）の内容が、学年ごとにどのように配分されているか。 語彙を豊かにする指導の内容、分量はどのようなものであるか。 	<p>「調査項目」、「着眼点」の根拠</p> <p>(1)中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養</p> <p>(2)中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること</p> <p>(3)中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること</p>
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の領域に関して、各学年にどのような言語活動が位置付けられているか。 「知識及び技能」(2)情報の扱い方に関する事項を扱った単元や内容、分量はどのようなものであるか。 	
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」領域の内容を指導するに当たり、どのような言語活動が設定されているか。 	
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実に資する内容が、どのように位置付けられているか。 	<p>第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） 施策Ⅱ「未来を創る確かな学力と実践力」の育成</p> <p>(1)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）</p> <p>(2)Ⅱ-8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26）</p> <p>(3)Ⅱ-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）</p>
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	<ul style="list-style-type: none"> 自らの学びを振り返って評価・改善しようとするために、どのような構成上の特徴があるか。 	
	(3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードは、いくつ掲載されているか。 	
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数、重量はどのようなものであるか。 	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒が学びやすいものになっているか。 	
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 学習のポイントを示すマークや、索引等にはどのような特徴があるか 	